

## 西松建設献金疑惑の真相解明と企業・団体献金の禁止を求める意見書（案）

西松建設の違法献金疑惑は、国民の強い怒りと政治への不信を引き起こしている。疑惑の構図は、10年あまりで4億7800万円もの西松建設からの献金が、二つのダミーの政治団体をつうじて自民・民主の多数の国会議員に渡っていたことである。

西松建設は、年間約1千億円にのぼる公共事業を受注しており、国民の税金が政治家に還流していたことになる。

会社名を隠す形で献金した目的はなにか、公共事業の受注に関する見返りを求めたのではないか、これらの重大な疑惑が厳しく問われているのである。

違法な献金を受け取り、政治資金収支報告書に偽りの届出をしていた疑いで公設第一秘書が逮捕・起訴された問題で小沢一郎・前民主党代表は、潔白を主張し、疑惑の解明も責任を明らかにすることも拒み続けている。西松建設から巨額の献金を受け取っていた二階敏博経済産業相らも同様である。国民は、真相が解明されなければ到底納得できるものではない。

よって政府および国会は、西松建設違法献金事件について証人喚問を行い国民の前に真相を明らかにするとともに、速やかに今後一切の企業・団体献金の禁止を行うよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。